

VOLUME.1

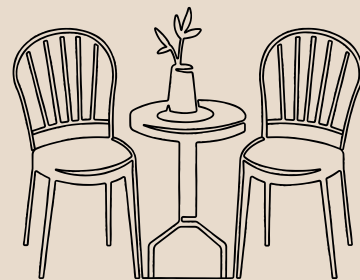
2026

F R O M M E
T O W E



IN SCHOOL RESEARCH MEETING 2026
-UMEDA ELEMENTARY SCHOOL

はじめに



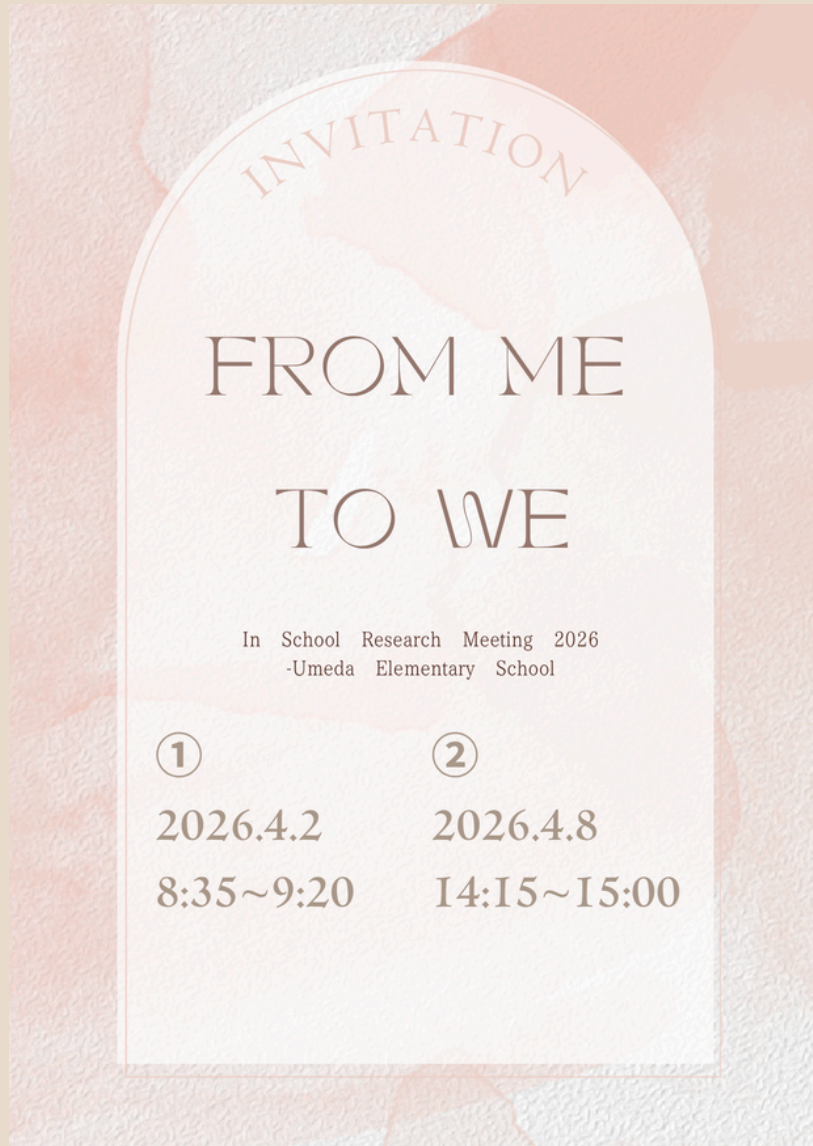
この雑誌は、校内研究の報告書ではありません。
完成された実践例でも、正解を示すマニュアルでもありません。

日々の中で、ふと立ち止まり、
問いや気付きや願いをすくいとった、
いくつもの断片です。

こどもとの出来事。
授業のあとに残った問い。
語り合った時間や、振り返りの途中で見えてきたこと。

それらを“報告”として整えるのではなく、
一人ひとりの手ざわりのまま、そっと並べていきたいです。

この一冊が、ふと立ち止まるきっかけになったり、
2学期のどこかで読み返したくなったり、
そんなふうに、そばに置いてもらえたら嬉しいです。

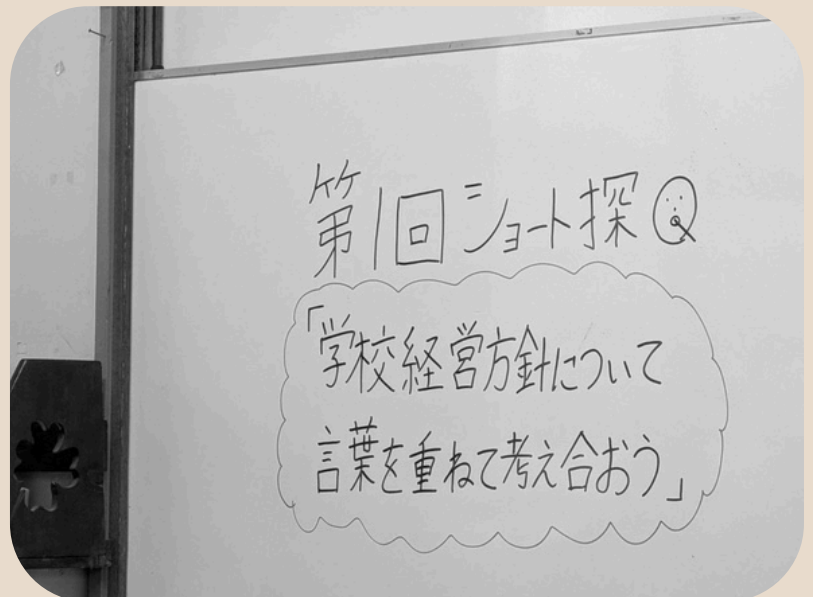


今年度の校内研究は、一枚の招待状から始まりました。
この紙には私たちが大切にしたいことが綴られています。

まだテーマはありません。完成された計画もありません。
今年の探Qは、私たち自身がつくっていくところから始まりま
す。

「FROM ME TO WE」
一人ひとりを出発点としながらもゆるやかにつながり合う
そんな思いで名付けました。

探Qが立ち上がる風景



FAST, ALONE

FAR, TOGETHER

早く行きたければ、一人で行け。

遠くに行きたければ、みんなで行け。

こどもたちの学びはもちろんですが、それ以上に、私たち教員が研究を通して対話し、つながり合うことが大切だと考えています。

「どんな学校にしたいか」「どんな職員室にしたいか」
きっと、これらは鏡のように響き合う問いなのではないでしょうか。

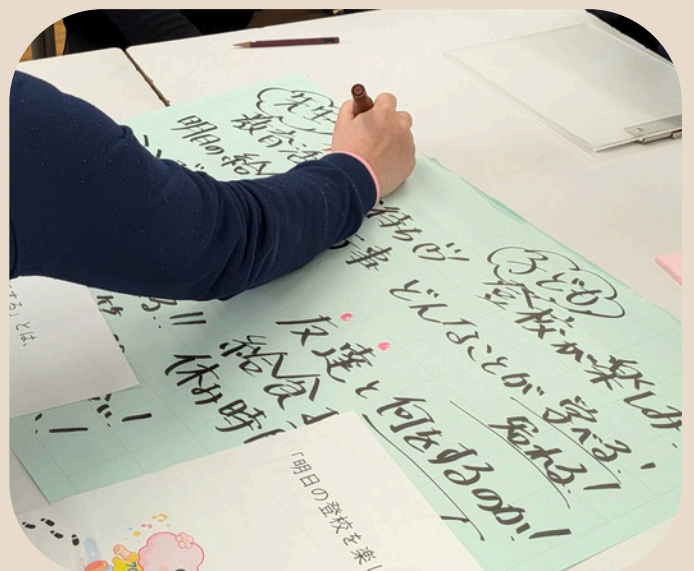
忙しさの中にも、ふと立ち止まり、「どんな学校にしたいのだろう」「どんな学びをつくりたいだろう」と一緒に言葉を紡いでいきましょう。

正解を探すのではなく、問いを見つけ、願いを編み、学びを耕していく

---そんな時間をご一緒できたら嬉しいです。

ことばを差し出し、重ねる

その瞬間に意味が芽吹く。



誰かのことばとことばが重なった瞬間、
まだ名前のない共通の感覚が生まれる。

学年ごとに書き出された“ことば”を模造紙に並べ、意味を探すように囲んだ時間。
似た言葉が重なったとき、「今、私たちにとって大事なこと」が静かに立ち上がってきました。

1年生

「明日の登校を楽しみにする」とは、

安心感♡ 人しなない
いつでも読んでくれる

やりたいことがある!

わくわく
ときめき



1年生

「明日の教育活動を心待ちにする」とは、

計画 → 準備 → 実践 → 共有
← 次に生かす ← 達成感

サイクルになるといい!!

安心感 やりたいことがある



2年

「明日の登校を楽しみにする」とは、

鯛



2年

「明日の教育活動を心待ちにする」とは、



3年

「明日の登校を楽しみにする」とは、

給食

失敗OK
自分から、自分でやる
↓
できた!!

イベント楽しみ!



3年

「明日の教育活動を心待ちにする」とは、

準備をしっかりと

心にゆとりをもつ



4年生

「明日の登校を楽しみにする」とは、

安心・安全

居場所・楽しい授業



4年生

「明日の教育活動を心待ちにする」とは、

時間と心の余裕

授業準備



5年

「明日の登校を楽しみにする」とは、

聞いて!

やってみよう

知ろう!

Fun



5年

「明日の教育活動を心待ちにする」とは、



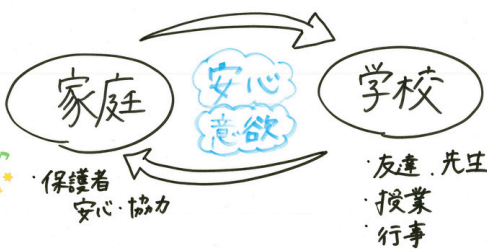
新たな



取り組み!

6年

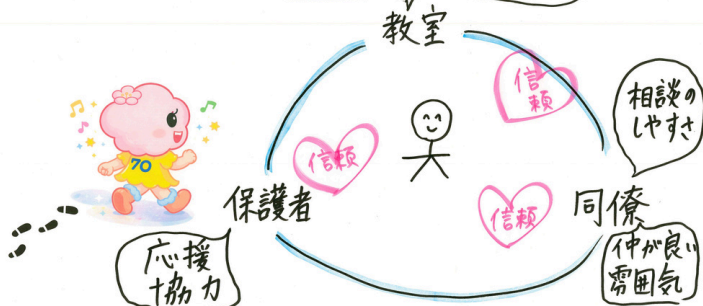
「明日の登校を楽しみにする」とは、



6年

「明日の教育活動を心待ちにする」とは、

雰囲気・授業準備、などの反応



専科・SR

「明日の登校を楽しみにする」とは、

自分の良さを理解する

安心

居場所がある
心と表現できる場所。



専科・SR

「明日の教育活動を心待ちにする」とは、

子どもに安心感を

そして、

子どもと心がつながる





GRAND DESIGN

明日の登校を楽しみにするこどもあふれる学校

明日の教育活動を心待ちにする教職員あふれる学校



学校スローガン

挑戦し続けよう！
成長し続けよう！
失敗なんて存在しない！

教育目標

- 明るく元気な子
- ◎よく考える子
- ねばり強い子
- 心のゆたかな子

おおた教育ビジョン

「笑顔とあたたかさあふれる未来」

おおた教育ビジョンとの関わり

おおた教育ビジョンの基本理念「笑顔とあたたかさあふれる未来」

“これからの未来を生きるこどもたちは、今からは予想だにしない社会の変化にも対峙していくこととなります。そのような予測困難な時代においても、笑顔やあたたかさを実感できる社会の担い手になることをめざし、未来を創り出す力をはぐくむという思いを込めています。”



本校は、ビジョンの基本方針2「誰一人取り残さず、こどもの可能性を最大限に引き出します」の中でも、個別目標4「学校力・教師力を向上させます」に関連が深いです。

教師が学校経営方針の具体化に向けた、「観察し」「目標を立て」「実践をして」「振り返る」を繰り返すプロセスは、こどもたちの学びの在り方と重なります。今後もビジョンの趣旨を踏まえ、こどもたちとともに学校づくりを続けていきます。



おおた教育ビジョン 概要版

探Qのタネはすでにわたしたちの手に

4月8日、第二回のショート探Q。テーマは「探Qのタネを見つけよう」

前回つくった「学校経営方針の読み解き」や「自分自身から立ち上がる疑問や関心」を手がかりに、自分自身の思いを描き出しました。

理想を思い描くのは、完成された正解を描くためではなく、いまの自分の実感や願いと素直に向き合うためです。

あらかじめ決まった手本をなぞるのではなく、「こんなふうにしてみたい」「このこどもたちと、こんなことができそう！」という思いを自分の言葉とまなざして形にしていく。

そのプロセスそのものが、探Qの一步です。

探Qのタネはすでにわたしたちの手に

探Qのタネを見つけよう

身体知
危険△
見え方が変わる
不可逆な変化
おもしろい問い
心理的安全性

探Qのタネを見つけよう

みんなが
安心できる
環境で!
・子どもも大人も
楽しい!
・ゼー!

探Qのタネを見つけよう

個

探Qのタネを見つけよう

リラックス
導く

探Qのタネを見つけよう

どうして
子どもも教師も
笑顔になれる授業うそ!!
できた 分かった
もってやってみたい

探Qのタネを見つけよう

思い・気持 達成感
達成感
満足感
意欲
安心・安全

探Qのタネを見つけよう

楽しい
もってやりたい

探Qのタネを見つけよう

楽しい!!
できた!!
児童主体の授業

探Qのタネを見つけよう

笑顔
楽しい
柔軟性 一貫性
一人一人に合わせた
サポート

探Qのタネを見つけよう

100%で
子ども安心
意外性にも
柔軟に対応
意外性を
楽しませ!! 授業!

探Qのタネを見つけよう

児童教室の
児童1人が
目を輝かせる
(目が死なない)
授業

探Qのタネを見つけよう

心がつながる!
自分だけの「できる」
を見つけられる!

探Qのタネを見つけよう

児童が
楽しむ授業

探Qのタネを見つけよう

あーっ!!
おもしろい!!
分かって
おもしろい!!
? が どのよう
どうして?
? が どのよう
どうして?

探Qのタネを見つけよう

つなげる
〇〇したい!
と思える
発問や場
バリ

探Qのタネを見つけよう

(もっど)
したい!!

探Qのタネはすでにわたしたちの手に

探Qのタネを見つけよう

発言しやすい雰囲気
のびのびと

協働的な学びの
良さを実感できる
対話

探Qのタネを見つけよう

たくさん話して
たくさん交流して
考えることが
ちょ～楽しい♪
(子ども)

探Qのタネを見つけよう

夢中
良い支え合
生み出す

探Qのタネを見つけよう

子どもが
前のめりになる
授業!

探Qのタネを見つけよう

子どもが
「前のめり」に
授業に集中。

探Qのタネを見つけよう

「わかった」
「できた」が
あふれる授業

探Qのタネを見つけよう

ん?
どうかな?
やってみよう

ヨッシャー!!
ヨッター!!
できた!!
またヤリた!!

探Qのタネを見つけよう

「ヨッシャー!!」
「ヨッター!!」
「できた!!」
「またヤリた!!」

探Qのタネを見つけよう

あれ?
どうかな?
なに?
なに?
あんなにいい!!
たのしい!!
おもしろ!!
おもしろ!!

探Qのタネを見つけよう

導入の工夫
バリエーション
課外活動
やらせた!!
板書

探Qのタネを見つけよう

やりたい
かめたい
たのしい
たい

探Qのタネを見つけよう

笑につくる
ほじす
泣かう

探Qのタネを見つけよう

共に学ぶ
(共有)を
大切にする!!

探Qのタネを見つけよう

他者との
対話を通じ
自己発展を
させる

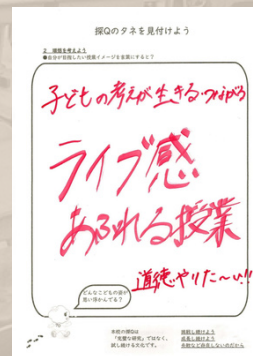
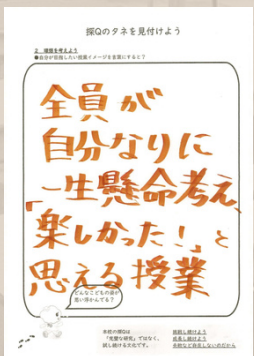
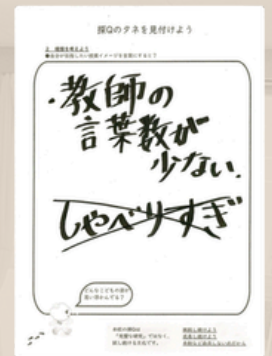
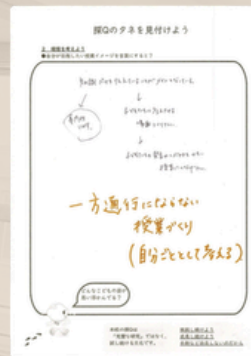
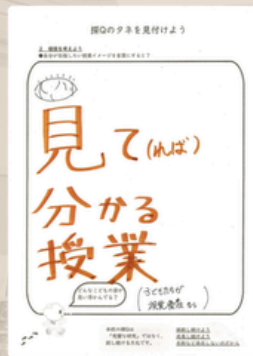
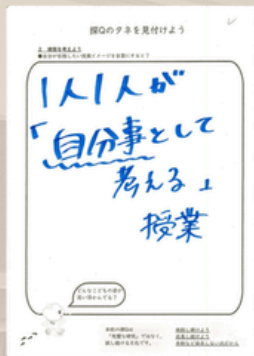
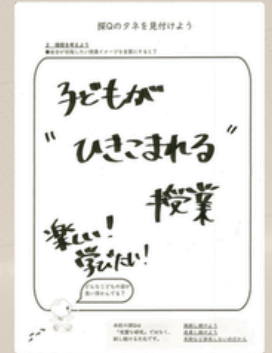
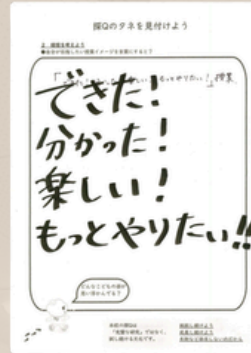
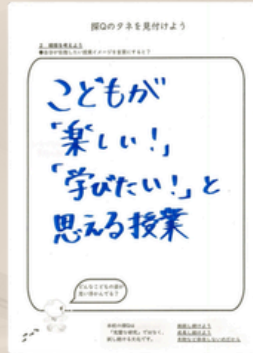
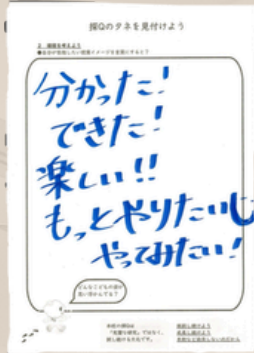
探Qのタネを見つけよう

発問
子どもが考えやすい
分かりやすい

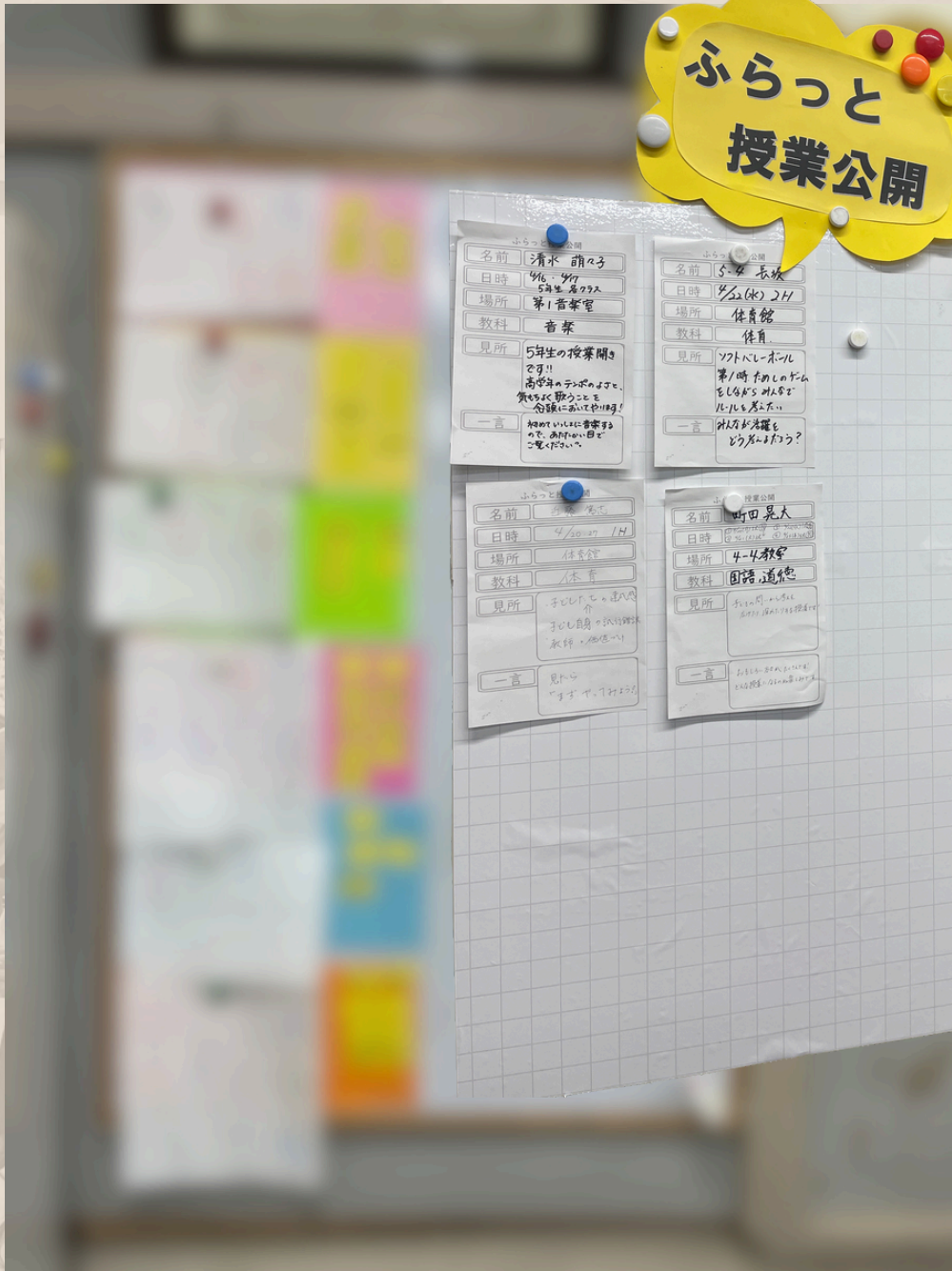
探Qのタネを見つけよう

子どもと
一緒に授業を
つくる。子どもの
反応を聞いて生かす!!

探Qのタネはすでにわたしたちの手に



授業公開が始まり



みんなで授業を見合う文化を
つくっていきましょう



対話を重ねる

個人で描き、共有し、また描き直す---

やりとりを重ねるうちに、迷いがほぐれ、イメージが広がっていきます。

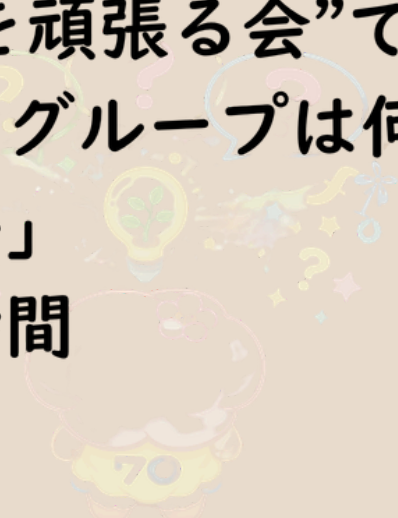
「こどもや授業についてじっくり話す時間そのものが楽しい。」 ---そんな声も聞かれました。

私たちの毎日に足りないのは、対話なのではないでしょうか。

今回の対話は完成品ではなく、地図の1ページ。

ここから先は、それぞれの教室で試し、ともに振り返り、編み直しながらみんなで育てていきます。

**“もっと探Qを頑張る会”ではなく、
「自分たちのグループは何を大事に見ていくのか」
をそろえる時間**



対話を重ねる

🔥 子供が夢中になり、前のめりになる授業にするために ～導入の工夫と授業の組み立てを通して～



1 理想の授業像（私たちが目指す姿）

子供が夢中・前のめりになる授業！

- できた・わかった・楽しい！
もっとやりたい、やってみたいが増える授業
- 子供が引っこまえず、
前のめりになる授業
- 夢中になれる授業
- 子供が楽しい・学びたいと
思える授業

そのために必要なこと

- 導入の工夫が大きい！
子供を引きつけ、「やってみよう！」と思える工夫
- 授業の組み立て（流れ）が重要
無駄のないテンポと考えられた構成で、スムーズに「シュートの場面」へ
- 対話的な活動の充実
子供同士の対話で「話したい！」と思える場面づくり
- どの子も一歩踏み出せる工夫
課題のハードルや視示のさじ加減を意識し、全ての児童が自分ごととして取り組めるように

👉 目指すのは「子供が自分ごととして動き、できた・わかったがついてくる授業」

2 大切にしたいポイント

1 導入の工夫

- 興味関心を引きつける
 - 「やってみよう」「頑張ればできそう」と思わせる課題設定
 - やりすぎず、焦点化を意識

2 授業の組み立て（流れ）

- 導入～展開～まとめが一貫していることが大切
 - 最初と最後がつながり、子供の考えがずれない
 - テンポよく、無駄のない動き

3 対話的な活動

- 「対話しないとイケない」と思える必要性のある場面
 - 子供同士の対話で、できるが増える
 - 話したくなる引き出し方や事業の持てつき方の工夫

4 どの子も一歩踏み出せる授業に

- 低い子も高い子も「できる！」「わかる！」がある
 - 全ての児童が夢中になれるように

3 各自の公開予定（6月・7月）

それぞれの授業の導入や授業の流れを、フラッと来て、フラッと見るスタイルで見合います！
※全ての時間に全員がそろわなくてもOK！見られる時間で、見に行きましょう。

基本の考え方

- 各自の授業予定を
カレンダーや掲示板に
出して共有
- 見られる人が
見られる時間に
見に行く！
- 話せる時間で
気づきや学びを
共有する

スケジュールのイメージ

教科・単元	6月				7月		
	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目...
教科A（単元α）				-	-	-	-
教科B（単元β）		-	-	-		-	-
教科C（単元γ）	-			-	-	-	-
教科D（単元δ）	-	-			-		-
...	-	-	-				

この期間の
どこかの時間で
授業を見に来て
もらえます！



見るポイント

主に「導入の工夫」を中心に見ます。
必要に応じて、展開やまとめも
見に行きます。



公開の出し方

「この単元のこの期間で、
この時間に授業をします！」と
大まかでOK！



柔軟な参加スタイル

忙しい時期でも、来られる時間だけで
OK！流動的に出入りできる
スタイルです。

4 見合い方のイメージ（フラッと見て、フラッと学び合う！）

予定を確認する

掲示板やカレンダーで
公開予定をチェック！

見に行く

見られる時間に
フラッと授業を
見に行く！

気づきをメモ

よかった点や工夫、
自分も取り入れたい
ことをメモ！

シェア・対話

見たことを共有し、
みんなで気づき合う！
（短時間でもOK）

見る視点の例

- 導入で子供を引きつける工夫は？
- 子供が「やってみよう」と思う課題設定になっているか？
- 対話が生まれる場面と、そのきっかけは？
- 流れ（導入～展開～まとめ）が一貫しているか？
- どの子も一歩踏み出せる工夫はあるか？

まとめ



今日決まったこと

- 導入の工夫と授業の組み立てを意識して見合う
- 6月・7月の各自の公開予定を掲示して共有する
- フラッと来て、フラッと見るスタイルで見合う



次のステップ

- 各自、6月・7月の授業予定を決めて掲示する
- 見に行き、気づきをメモして共有する
- 7月の探究授業に向けて、学びをつなげていく



子供たちの「できた！」「わかった！」「楽しい！」が
増える授業を、みんなでつくっていきましょう！



対話を重ねる

子どもが「楽しい!」と思える授業づくりを目指して

子どもの気持ちに寄り添い、毎時間・毎分の「楽しみ」をつくる授業を。

私たちの理想の授業像



明日も楽しみ!
次の授業も楽しみ!

次の学びへの
期待をもてる授業



45分の中で、
次の1分・5分・10分が
楽しみになる!

一瞬一瞬に「楽しみ」や
「わくわく」を感じられる授業



子どもの気持ちに寄り添い、
「知りたい!」「やってみよう!」を
大切に

一人ひとりが主役にな
れる授業

授業のポイント (例: 国語「説明文」)

導入の工夫

- ・「説明文って知ってる?」と問いかけ、
タブレットでアンケートを実施
- ・結果をグラフで提示して、
興味を引き出す
- ・本物を見せて驚きを与える
- ・「実は教科書に説明があるよ!」と伝え、
読みたい気持ちにつなげる

説明文を知っている?



「うわ、読んでみたい!」
という気持ちを引き出すのが導入のカギ!

導入の工夫いろいろ ~子どもを自然と“学びの船”に乗せるために~

アンケートで興味を引く



リアルタイムで結果が見えると、
「自分も参加できている!」と実感

具体物・実物の提示



本物にふれることで
「おお!」という驚きと
関心生まれる

体験・アクティビティ



簡単な活動から始めて、
「やってみよう!」を引き出す

身近な話題から



子どもたちの生活や
身近なテーマから入ると
自分ごととして考えやすい

ICTの活用



グラフや可視化で
わかりやすく、
興味・関心を高める

授業の進め方の工夫



子どもが「やってみよう!」と思える
課題設定をする



自分の考えを表現し、交流することの
楽しさを味わわせる



説明の仕方の工夫など、具体的に
「できること」を示す



1時間のまとめで、次の時間への期待を
もたせる(つなぎの工夫)

導入(興味づけ)

展開(学び合い)

まとめ(ふり返し)

次への期待へ

教員の役割



なるべく「話しすぎない」
子どもが動き、考える時間をつくる



問い返しのタイミングを見極める
(出るタイミングがカギ!)



子どもの様子を見取り、必要に応じて
軌道修正をする



子どもの気持ちに寄り添い、
「できた!」「わかった!」を大切に



見る視点 (授業観察のポイント)

- ✓ 子どもが自然と“学びの船”に乗れているか? (導入の工夫)
- ✓ 子どもが主体的に考え、関わっているか?
- ✓ 楽しそうに学んでいる姿が見られるか?
- ✓ 次の時間も楽しみにしている様子があるか?



今後の課題・目指すこと

- ★ 毎時間の「楽しさ」をどうつくるかを追求する
- ★ 子どもが「知りたい!」「やりたい!」と思える気持ちを大切に
- ★ 教員が話しすぎず、子どもが主役になる授業を目指す
- ★ 子ども一人ひとりの「できた!」「わかった!」を積み重ね、自信につなげる



子どもが今日の授業を楽しみ、明日もまた学びたくなる。そんな授業を、みんなでつくっていきましょう!


対話を重ねる

教師が楽しむ授業で、子どもがつながり、主体的になる！




～心がつながる、楽しい授業づくりを目指して～

研究のテーマ

教師にとっても、子どもにとっても「楽しい授業」とは？
その実現に向けて、視点を共有し、学び合う。



話し合いで出されたキーポイント

 <p>教師が楽しむと、子どもに伝わる</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師が熱中していると、子どもも興味をもち、楽しくなる。 <p>「先生が楽しい！」が子どもの楽しさにつながる</p>	 <p>子どもがつながり、主体的になる授業へ</p> <ul style="list-style-type: none"> 話す・聞く・認め合う雰囲気づくりが、子どもの力を引き出す。 <p>安心して発言できる環境で、子どもが育つ</p>	 <p>視点をもって授業を見合う</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師の言葉がけや工夫、子どもの反応を観察し、学び合う。 <p>「ハッとする一言」を見つけよう！</p>
---	---	--

現場のリアルな悩み

- 落ち着かない子への対応**
 - 注意してもすぐ戻らない
 - 優しく声をかけているがいつまでもだらだらしてしまう
 - タブレットやおしゃべり等、気が散ってしまう
- 授業を進めながらの声かけ**
 - 合間に声をかけているが、全員に目が行き届かない
 - 怒ってばかりでは、授業のあとが楽しくない
- 学ぶ意欲の差が大きい**
 - 書くことが苦手、嫌いな子もいる
 - 同じ内容でも、反応がそれぞれ違う
- クラスによってやり方が変わる**
 - 来年は違うクラスになると、やり方も変わってしまう
 - 「自分のやり方」を研究したい



先生方が実践している工夫・アイデア

- つまづきに寄り添う工夫 (特別支援の視点から)**
 - 小さい「っ」「ょ」「長音」などを動作や見える化でサポート
 - 日本語が苦手な子にも有効
- 園工ポストで対話のきっかけづくり**
 - 子どもからの質問や気づきをポストに投稿
 - 月1回、みんなで意見交換
- 子どもが問いを立てる活動へ**
 - 子ども自身が「問い」をつくる
 - 自分の問いが学びを深める
- 子どもの言葉を拾って広げる**
 - 子どもの発言を認め、つなげていく
 - 「その言葉がみんなの学びに」
- できる子からしっかりと授業に向ける**
 - しっかりとできる子たちをこちらに向ける
 - 周りの子にもよい影響が広がる

授業を見るとき視点 (共有したいこと)

以下の視点で授業を見合い、学び合しましょう！

- 子どもが「楽しい」と感じている場面はどこか？**
 - 表情・反応・つぶやき・動きなどを観察
- 子どもがのってくる「教師の一言」は？**
 - かけ声・問いかけ・ほめ言葉・認める言葉など
- 安心して発言できる雰囲気づくりの工夫は？**
 - 聞く姿勢・認め合う言葉・場のつくり方など

グループ共通の問い


教師にとって楽しい授業とは？ どうすれば実現できるだろう？

子どもにとって楽しい授業とは？ どうすれば実現できるだろう？

共通の目標：すべての子どもが「楽しい！」と感じる授業をめざして

今後の進め方

- 各先生の「楽しい授業」を公開し、見合う
- ハッとする一言・工夫を共有し、汎用化する
- 子どもの反応を手がかりに、授業改善につなげる
- 得意なこと・持ち味を生かしながら、学び合う




公開予定

- スケール (音楽)：6月9日
- 陸 (体育)：6月16日
- 日指導専門員の授業：6月19日

※時間は変更になる場合があります

最後に

みんなで動かし合い、学び合い、「心がつながる楽しい授業」をつくっていきましょう！



対話を重ねる



探究的な学びの授業づくりミーティング

子どもの「やりたい」「知りたい」を引き出す授業とは？



理想の授業像（共有したい姿）

- ✓ 子どもが「やりたい」「知りたい」と思っている
- ✓ 自分で調べたり、友達と話したりしながら、主体的に学んでいる
- ✓ 意見を共有し、考えを広げたり、アレンジしたりして、よりよいものになっている
- ✓ 授業の最後に「やりきった！」「もっとやりたい！」と思える



時間の区切りの工夫（例）

時間を区切ることで、子どもが見通しをもち、主体的に動ける！



子どもたちから「相談タイムを長くしてほしい！」「今日はあるの？」などの声があがるほど、意欲につながっている！

課題・悩み

- 意欲の差が出てしまう**
 - ・ 個人で取り組む時間はできるが、意欲の差が出る
 - ・ 「こなす」だけになってしまう子もいる
 - 共有・相談の質に差がある**
 - ・ 何を話しているかわからない子がいる
 - ・ 伝えたいことがあっても、うまく言えないことがある
 - 導入がとても難しい**
 - ・ 最初に見せる資料や写真で、子どもの反応が大きく変わる
 - ・ 導入での「意欲づけ」が最後まで続くこともあれば、途中で途切れることもある
- どうすれば、すべての子どもが「やりたい！」と思え、主体的に学べるようになるのか…？

見ていく視点（何を見るか）

子どもたちの「意欲」が表れている場面を見ていく！

- 子どもの反応・発言**
 - つぶやきやつぶやきに近い反応、つぶやき笑顔、驚き、疑問、つぶやきなど
- ノート・ワークの記述**
 - 書く内容の深まり、工夫、量、図やメモの工夫など
- 活動への取り組み方**
 - 集中しているか、進んで動いているか、友達と関わっているかなど
- 振り返り**
 - 「楽しかった」「もっと調べたい」など、学びの手応えや次への意欲が見えるか
- 教師の発問・手立て・環境**
 - どんな問いかけや、資料提示、場の設定が有効だったか

グループの問いづくり（テーマ）

子どもの「やりたい！」を引き出す授業づくりとは、どのようなものなのだろうか？

含まれる視点



導入の工夫



活動の工夫
(時間の区切り・相談の場など)



意欲を持続させる
手立て

ポイント

導入だけでなく、途中での働きかけや、子ども同士の関わりの場づくりも含めて、意欲を引き出し続ける授業を目指す！

各自の公開日（研究授業）について

6月ごろに、各自のクラスで研究授業を実施！（可能な日で調整します）

ポイント

- ✓ 学年や行事、プール指導などの予定を考慮して日程調整
- ✓ 無理のない範囲で、公開したい授業を決める
- ✓ 事前に「ここを見てほしい！」という視点を共有できると◎



やりたい授業のアイデア（例）

- ・ 道徳（持ち回りで同じ内容を実践し、よりよくしていく）
- ・ 社会（資料提示や導入の工夫で、反応を比べてみる）
- ・ 国語（漢字や文づくりで、協働の時間を工夫する）
- ・ その他、各教科での小単元や探究の時間など

大切にしたいこと

子どもが「やりきった！」「楽しかった！」「もっと知りたい！」と思える授業を、みんなで一緒に作っていきましょう！



月に1回程度、研究授業に向けて集まり、授業づくりを進めていきます！



対話を重ねる

子どもたちと創る「対話」のある授業づくり ～実践の中の悩みと工夫～

はじめに

対話のある授業を目指して、子どもたちと日々実践中！それぞれの教室で感じている悩みや工夫、アイデアを共有します。



対話の意義とは？

- ✓ 自分の考えを広げたり、深めたりできる
- ✓ 相手を理解し、多様な価値観に触れられる
- ✓ 自分の生活や生き方につながる問いに出会える
- ✓ 安心して話せる関係づくりが大切



困っていること

① 発言がなかなか出てこない



- ・特に5年生は、発言が少ないことが多い
- ・クラスによって活発さに差がある



② 言葉づかいや雰囲気の問題



- ・言葉づかいがきつく、雰囲気がよくないことも
- ・対話の前に、クラスの土台づくりが必要



③ 対話の意味の理解と実践のギャップ



- ・対話の意味は理解していても、じゃれついてしまうことがある
- ・「話すこと」よりも「遊びの延長」になってしまう



④ 相手の話を聞けないことが多い



- ・他の人の話を聞かずに自分のことを話してしまう
- ・聞き方を学ぶことが必要



⑤ 教科や時間の制約



- ・教科書の情報が少なく、話し合いの題材をどうするか悩む
- ・1時間の中で、どのくらい時間をとれるかも課題



やってみている工夫・実践

問いの力を育てる



- ・「なんで?」「どうして?」などの問いをたくさん出す練習
- ・問い返しや問いを出すことを意識



安全な場づくり



- ・「安全じゃない発言はやめよう」と共有
- ・安心して話せる雰囲気づくることを大切に



話の聞き方を練習



- ・相手の話を最後まで聞くことを練習
- ・聞いたうえで質問することを意識



少人数での対話からスタート



- ・円になって対話 → 外側で分析 → 交代
- ・小さなグループで話すことから始める



ファシリテーターの育成



- ・学級会などで司会や軌道修正をする子を認めて伸ばす
- ・大人の適切な声かけが対話を良くする



★大切にしたいポイント

- ✓ 正解のない問いで、考えを広げる
- ✓ 自分の生活や価値観につながる対話
- ✓ 小さな成功体験を積み重ねる
- ✓ 子ども同士の関係づくりを土台にする

🌱これからに向けて

- 子どもたちが「対話って楽しい!」と思える授業を一緒につくっていきたい
- 教科の内容も大切にしながら、対話の時間や場面を工夫していく
- 安心して話せるクラスを、みんなで育てていく

➡ 対話は、未来をつくる力!

小さな工夫や一歩は授業の中で静かに芽吹きます。

このページに残したのは、その芽の記録です。
うまくいったことも、まだ形にならない思いも、
2学期にまた持ち寄って、
次の景色を一緒に見に行きましょう。

